

伊豆中央道・修善寺道路に関する説明会（伊豆市）

■日時 令和5年3月22日（水）19時～20時40分

■場所 生きいきプラザ市民文化ホール（伊豆市小立野66-1）

■質疑応答内容

質問 1

人口が減少していく中、今から40年後の交通量の見込みはどう考えているのか。

回答 1

交通量推計は、社会情勢などを考慮し20年後の交通量を予測したものであり、今から40年後の交通量の推計データは存在しません。

質問 2

なぜ40年程度、伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収期限を延長するのか。

回答 2

伊豆中央道と国道414号静浦バイパスの一方の道路への交通集中を回避し交通の均衡を図るため、静浦バイパスと伊豆中央道、修善寺道路の料金徴収期限を同時期に設定しました。

質問 3

伊豆中央道・修善寺道路を無料化した場合、維持管理費は県予算で賄えないのか。

回答 3

県の維持管理予算に対して大きな影響はないと考えますが、両道路の維持管理レベルは高く設定しており、今後、維持管理費が増加することになります。

質問 4

今回の伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収期限の延長に関して、地元の同意はどのようにするのか。

回答 4

料金徴収期限の延長に関する手続きにおきましては、地元の同意書を得る必要はありませんが、県の考え方を御理解いただきたいと考えています。

質問 5

地元説明会の開催が、料金徴収期限の直前となったのは何故か。

回答 5

これまでの経緯を踏まえ内部で検討を行っていたため、庁内協議やシミュレーションに時間を要してしまいました。今日まで様々な検討を行った結果であると御理解いただきたい。

質問 6

事実上の無料化の断念と考えているがどうか。

回答 6

伊豆中央道と修善寺道路の、永久的な有料化に舵を切ったわけではありません。

質問 7

函南町長は料金徴収期限の延長に同意できないと言っている。同意できない函南で説明することが先ではないか。

回答 7

本日（3月22日）と今月28日の説明会での意見を踏まえ、今後、どのように説明を行っていくのか、関係市町と調整してまいります。

質問 8

今年、伊豆中央道と修善寺道路が無料化されるということは、市民の思い込みなのか。

回答 8

現在、伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収期限は令和5年10月2日ですが、伊豆地域の基幹道路である伊豆中央道と修善寺道路の高速性や定時性を確保するため、料金徴収期限を延長することに御理解いただきたいと考えております。

質問 9

修善寺道路の償還計画は、見通しが甘いのではないか。

回答 9

結果として、償還計画が甘かったかもしれませんが、周辺道路の整備が進んだことにより、修善寺道路の交通量が影響を受けた部分があると考えます。

質問 10

伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収期限を延長することについて、専門家の意見を聞かないのか。

回答 10

交通量の推移や高速道路で実施された社会実験の結果などを基に方針を決定いたしました。

質問 11

今日の説明会の一番重要なポイントは何なのか。

回答 11

伊豆地域の基幹道路である伊豆中央道と修善寺道路の高速性や定時性を確保するための伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収期限の延長です。

質問 12

料金無料化の社会実験をしないのか。

回答 12

伊豆中央道・修善寺道路が無料化された場合の交通量は、過去に高速道路で実施された社会実験と同様の傾向になると考えております。

質問 13

有料道路の償還期限後に、料金を徴収し続けている前例はあるのか。

回答 13

県内に事例はありませんが、全国的には事例があります。

質問 14

静岡県道路公社が管理する道路はいくつあるか。

回答 14

静岡県道路公社は5路線を管理しております。

質問 15

国道414号静岡バイパスの工事期間40年と、伊豆中央道と修善寺道路の延長する料金徴収期間の40年はミスリードではないか。

回答 15

国道414号静岡バイパスの工事期間40年は、有料道路事業を導入せず公共工事で整備した場合の工事期間であり、現在、県が実施している国道事業の、一年あたりの予算を参考に算定したものです。伊豆中央道と修善寺道路の延長する料金徴収期間の40年は、有料道路事業を導入した場合の静岡バイパスの整備期間と償還期間を合わせた期間であり、同じ40年ですが別のものとなります。

質問 16

伊豆中央道と修善寺道路を無料化しても、交通量が現状の2倍であれば大して影響はない。県の実感はどうか。

回答 16

東駿河湾環状道路や国道136号バイパスと同程度の交通量になると見込んでおり、影響は大きいと考えております。

■令和5年3月28日（火）に回答した質疑応答内容

質問 17

伊豆縦貫道のうち、天城峠を越える区間の全体事業費 4,000 億円は正しいのか。

回答 17

天城峠を越える区間である天城峠道路のうち、新規に事業化された月ヶ瀬から茅野区間の事業費は、約 900 億円と公表されております。しかし、国が実施している事業であり、全体事業費については公表されておられません。

質問 18

伊豆縦貫道のうち、河津下田道路の河津七滝 IC～河津逆川 IC の事業費は。

回答 18

河津下田道路のⅡ期区間については、全体事業費が 559 億円と公表されていますが、河津七滝 IC～河津逆川 IC 間のみの事業費は公表されておられません。

質問 19

伊豆中央道と修善寺道路の今後の料金収入は、何に使うのか。

回答 19

今後想定される、橋梁やトンネルなどの大規模構造物の修繕や、伊豆中央道・修善寺道路の利用者の利便性向上に資する改築事業などに活用していくことを考えています。

質問 20

伊豆中央道と修善寺道路の料金収入は、静岡県道路公社全体の料金収入のどれくらいの割合を占めるのか。

回答 20

静岡県道路公社全体の料金収入の約 7 割を占めます。